

SGA と PGA メモリー設定と自動メモリー管理の設定

1. SGA の確認方法

[サーバー] タブ→データベース構成・セクションの「メモリー・アドバイザー」

自動メモリー管理 有効 / 無効 ボタン アドバイス ボタン

合計メモリー・サイズ |

最大メモリー・サイズ 1000 MB

- ※ 自動メモリー管理は、SGA+PGA の合計メモリー・サイズを使用状況に合わせて内訳配分を調整する機能
- ※ 最大メモリー・サイズは、再起動無しで SGA+PGA に割当て可能な最大のメモリー許容値
合計メモリー・サイズは、現在のインスタンスに割当てられている SGA+PGA のメモリー容量値
- ※ 合計メモリー・サイズは、初期化パラメータ `memory_target` で指定します
- ※ 最大メモリー・サイズは、初期化パラメータ `memory_max_target` で指定します **`memory_max_target ≥ memory_target`**
- ※ アドバイス ボタンで、使用量-効率化グラフ表示され、高効率メモリー・サイズの値を決定できます

[SGA] / [PGA] タブ

現行のメモリー割当ての内訳が表示される

使用内訳の配分を自動 アドバイス ボタン

- ※ アドバイス ボタンで、設定量-効率化グラフ表示され、高効率メモリー・サイズの値を決定できます
- ※ SGA のメモリー・最大サイズは、初期化パラメータ `sga_target` で指定します
- ※ PGA のメモリー・最大サイズは、初期化パラメータ `pga_aggregate_target` で指定します

2. データベース作成時のメモリー管理自動化指定

Database Configuration Assistant でデータベースを作成するときに、「ステップ 10/14 : 初期化パラメータ」画面の [メモリー] タブ

自動メモリー管理の使用

3. メモリー使用の自動配分機能

- (1) 自動メモリー管理 : SGA+PGA の合計メモリー・サイズを使用状況に合わせて内訳配分を調整する機能
- (2) 自動共有メモリー管理 : 自動メモリー管理を使っていない時、SGA の合計メモリー・サイズを使用状況に合わせて内訳配分を調整する機能

【注意】メモリーの使用配分を動的に振り分け効率化するだけなので、最適メモリー合計容量は、 アドバイス ボタンを使って、適宜調整する必要がある